

平成30年度

帯広市教育研究所 概要



平成 30 年度 教育研究所員

平成 3 0 年 4 月 3 日 帯広市教育委員会室



URL : <http://www.obi-kks.obihiro.ed.jp/>

E-mail: kenkyu@f1.octv.ne.jp

帯広市教育研究所では、市内の小中学校や関係機関と密接に連携をとりながら、最新の教育研究および調査研究を行っております。また、各学校からの要望はもちろん、先生方一人一人の実践上の問合せにも応えられるように各種資料の収集や整理に心掛けております。

以下のような事業を進めておりますので、どうぞお気軽にご利用ください。

**各種教育資料の
提供**

- *全国・全道・管内の教育研究所発行の研究紀要が揃っています。
- *市販の教育図書や教育雑誌、ビデオ教材もあります。
- *教育図書やビデオ教材の一部は、貸し出しが可能です。

研究・研修相談

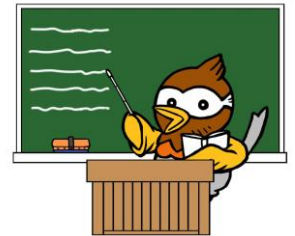
- *研究・研修に関する御相談に応じます。
- *校内研究や個人研究のための資料を提供します。

独自教材の開発

- *本市の小中学校の教育実践を支援するパソコンソフトやビデオソフトを開発しています。
- 研究所クラウド型サーバーシステムにて、
今までに当研究所で作成した独自教材を活用することができます。

**情報教育の支援
研修講座の実施**

- *コンピュータ活用を推進する研修講座や夏季・冬季休業中の研修講座を実施しています。
- *各学校の要望に応えるパソコン移動講座・相談・情報教育専門員の派遣も実施しています。
- *その他 教科書センター機能 帯広市教育研究会事務局 等



ヒバリー©2016

ホームページアドレス <http://www.obi-kks.obihiro.ed.jp/index.html>

メールアドレス kenkyu@f1.octv.ne.jp

☎ 23-4949 FAX 23-4988 詳しくはお問い合わせください。

◆ 教育研究所の場所

【事務所】 市庁舎8階西側フロアー中央 帯広市教育委員会内

【研修室】 帯広小学校内にあります。（1階南側玄関からどうぞ）

平成29年度 発行資料 については、8ページをご確認下さい。



帯広市教育研究所運営方針

教育研究所では、教育研究を総合的な見地から立案し、その計画に基づいて実証的・科学的に研究を進めます。

また、各学校や教育関係機関と密接に連携を図りながら、市民の教育的要望に応えるよう努めます。

1

今日的な教育課題を的確に把握し、所員による研究・各種委員会による研究・学校との共同研究・各教育研究所連盟との共同研究を進めます。

2

学校や地域社会の教育的要望に対しては、時宜に応じ、具体的で目に見える形で、応えるように努めます。

3

学校や地域社会・関係教育機関との連携を密にしながら、研究を進めます。

4

研究の成果は、研究紀要や教育資料としてまとめ、日常の教育活動及び各種の研究会等で活用できるように提供します。

5

教育関係の資料を広く収集・整備するとともに、教育図書や教育用メディアの購入・保管を通じて、教育情報の積極的な提供に努めます。

帯広市教育研究所の運営概要（平成30年度の構想）

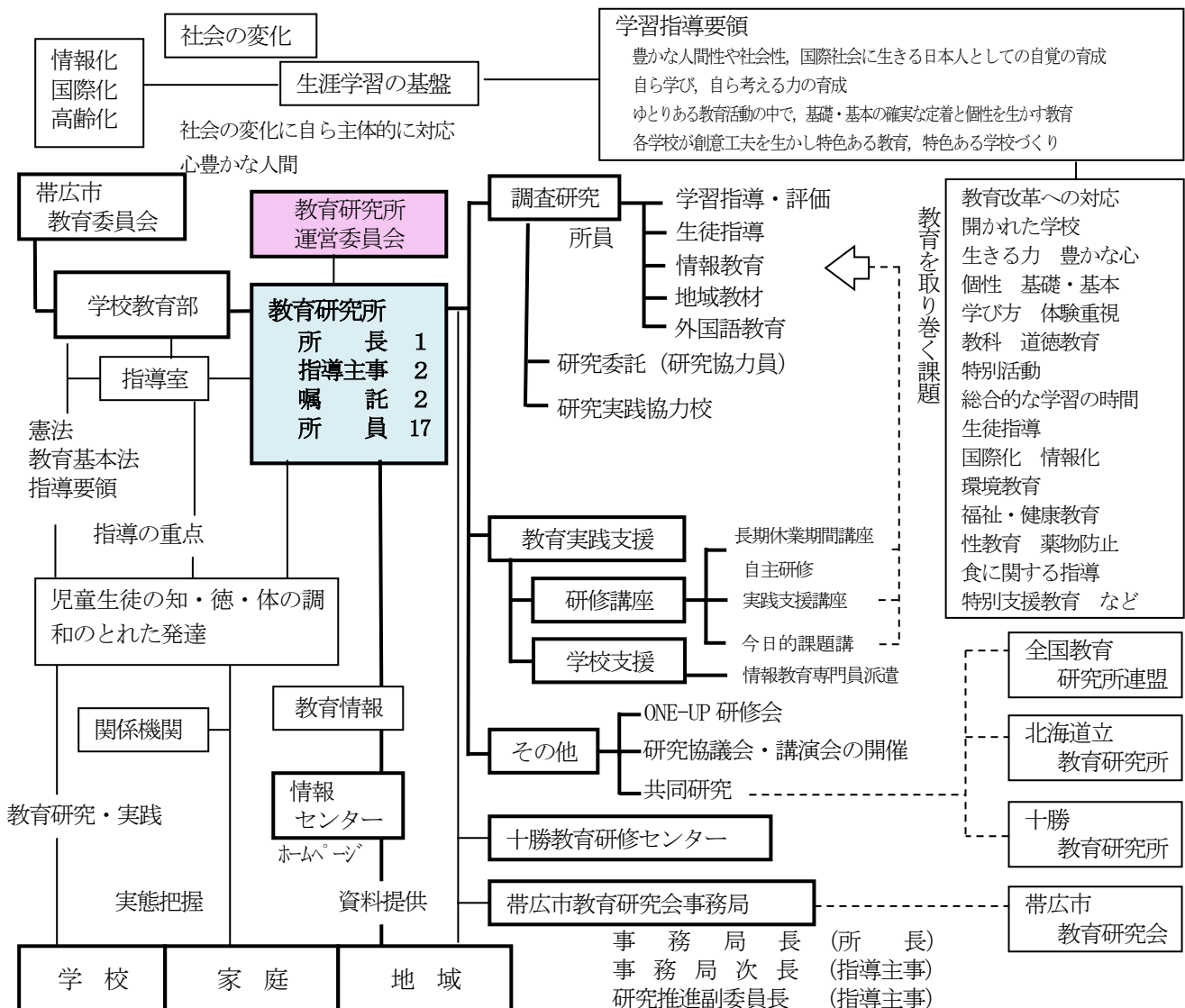
帯広市教育研究所条例

（主旨）第1条 本市の教育計画及び教育方策の調査研究を行うため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定により帯広市教育研究所を設置する。

帯広市教育研究所条例施行規則

（事業）第2条 研究所は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- （1）教育の思潮，理論，実践等に関する研究と紹介
- （2）教育内容や方法技術に関する調査研究
- （3）教育に必要な資料の収集調査とその研究
- （4）児童生徒，学校，地域社会等の実態についての調査研究
- （5）教育制度，教育行政，学校経営等に関する調査研究
- （6）所員並びに教職員の研究助成と成果の発表
- （7）学校その他の機関との協力研究
- （8）調査研究物の出版事業
- （9）その他必要な調査研究事業



平成30年度 帯広市教育研究所 名簿

学校指導担当部長（所長） 村 松 正 仁 （市教委）

指 導 主 事 多 治 見 忠 （市教委）

指 導 主 事 西 山 乙 代 （市教委）

調査研究専門指導員 中 島 順 子 （市教委）

事 務 員 本 郷 美 香 （市教委）

職 名	氏 名	所 属	グループ・担当
主任所員	渡 澤 純 子	若 葉 小	外 国 語 教 育
所 員	樋 口 寛 人	明 星 小	外 国 語 教 育
	山 野 圭	北 栄 小	情 報 教 育
	須 田 慎 二	啓 西 小	地 域 教 材
	石 川 直 人	稲 田 小	学 習 指 導 ・ 評 価
	城 石 博 康	豊 成 小	情 報 教 育
	石 垣 雄 太	栄 小	情 報 教 育
	奥 ま み	広 陽 小	生 徒 指 導
	田 隈 泰 邦	啓 北 小	学 習 指 導 ・ 評 価
	梶 谷 智 衣	開 西 小	生 徒 指 導
	桐 山 千 恵 子	明 和 小	地 域 教 材
	大 石 秀 雄	広 野 小	地 域 教 材
	吉 川 英 輝	帯 四 中	外 国 語 教 育
	十 倉 智 秀	大 空 中	外 国 語 教 育
	森 谷 み ち る	西 陵 中	学 習 指 導 ・ 評 価
	水 谷 由 美	緑 園 中	学 習 指 導 ・ 評 価
	鈴 木 静 恵	清 川 中	生 徒 指 導

平成30年度 研究事業計画概要

1 学習指導・評価に関する研究 (毎年継続)

○ 『帯広の子どもの学力』に関する研究

市内児童生徒の学力把握を継続的に行い、指導法の改善を図る

- ・ 小学校 3・5年生 中学校 2年生
- ・ データをもとに指導法の改善を提示する
- ・ CRT学力調査結果の結果を受け、基礎基本を活用する能力を高める指導のあり方に関する実践的研究を推進する
- ・ 公開研究会、校内研究推進協議会、研究所実践協力校等との関連をはかりながら、今日的な課題に対応した実践的な研究を推進する
- ・ 教育資料の発行

2 特別支援教育に関する研究 (毎年継続)

○ 特別支援教育に関する校内研修・体制の支援

帯広市の特別支援教育のあり方についての研究

- ・ 通常学級における支援の必要な児童に対する支援について
- ・ 特別支援教育を必要とする児童生徒についての理解を深め、具体的な指導及び支援のあり方の研究
- ・ インクルーシブ教育に関する研究
- ・ 研究成果による情報提供

3 道徳に関する研究 (平成29・30年度)

○ 道徳の時間における授業改善の研究

特別の教科となる、
道徳の授業についての調査・研究

- ・ 読み物資料の効果的な活用の仕方
- ・ 道徳の時間における一単位時間の基本的な流れ

4 情報教育に関する研究 (毎年継続)

○ コンピュータを核とする情報機器を活用した指導法の研究

学校教育における情報機器の効果的な活用方法に関する実践的研究や支援

- ・ 時代の変化に対応した児童生徒の情報活用能力の育成を図る指導法の研究
- ・ ネットワークを活用した教育実践のあり方についての研究
- ・ 教育情報の発行

○ 適時適切なパソコン研修計画立案と研修講座の開催（出前講座の積極的な実施）

○ 情報モラル、セキュリティ、メディアリテラシーに関する指導と指導の充実

○ タブレット型パソコン等の授業における活用、指導方法の研究

5 データベース教材の開発に関する研究	(毎年継続)
---------------------	--------

○ 基礎・基本定着のためのデータベースの開発

- ・ 学力向上のための習熟度別ドリル形式の学習ソフトウェア開発（朝学習，長期休業中，宿題等で活用できるもの）
- ・ 一人一人の学習の達成状況に応じた指導に役立つデータベース教材の作成
- ・ データベース教材を用いた講座の開設や啓発活動

6 社会科副読本及び学習資料等に関する研究	(毎年継続)
-----------------------	--------

○ 小学校3・4年生 社会科副読本『おびひろ』に関する研究

小学校3・4年生社会科副読本『おびひろ』及び学習資料等の改訂

- ・ 資料，グラフ等の資料の収集及び内容の更新

7 地域教材開発に関する研究	(毎年継続)
----------------	--------

○ ビデオ教材開発に関する研究

- ・ 児童生徒の実態に即し，地域素材を生かしたビデオ教材の作成
- ・ 中学校で活用できる内容のビデオ教材の作成

8 外国語教育に関する研究	(平成30年度)
---------------	----------

○ 小学校外国語活動・外国語科に関する研究

- ・ 文部科学省作成教材「Let's Try! 1 2」「We Can! 1 2」の活用法の研究
- ・ 授業研究を通じた，小学校における外国語教育の在り方の調査，研究

9 教師の資質向上に関する研究	(毎年継続)
-----------------	--------

○ 教師の資質を向上させていくための研修プログラムのあり方についての研究

- ・ 学校の現状や教師のニーズに即した，人間力等も含めた教師の資質向上に向けた研修プログラムに関する研究を行う
（夏季・冬季休業中における教員研修内容の立案）

10 教育情報に関する資料の整備と提供

○ 貸出用ビデオライブラリーの充実

○ パソコンソフトの充実

○ 教育研究所ホームページによる各種情報の提供・データベース化

○ 教育研究所所報「おびひろの教育」及び「教育情報」の発行

11 十勝教育研究所との連携

○ 管内教育所連盟共同研究

1 2 その他の事業

○ 研究概要説明会の開催

○ 帯広市教育研究会に関する事業

- ◇ 総会，運営委員会，研究推進委員会，事務局会議・研修会の開催
- ◇ 一斉部会の開催
- ◇ 教育講演会の実施
- ◇ 各部実技研の開催
- ◇ 各種研究協議会，研究会の開催
 - ・ 校内研究推進協議会
 - ・ 生徒指導・教育相談研究協議会（「教育フォーラム」）
 - ・ 学年・学級経営研究協議会
 - ・ 特別支援教育研究大会 等
- ◇ 『研究集録』の発行
- ◇ 『帯教研通信』の発行
- ◇ 『校内研究を進めるために』の発行
- ◇ 『帯教研会報』の発行

○ 北海道教育研究所連盟事業

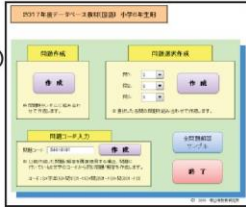
○ 北海道立教育研究所研修講座事業

○ 十勝教育研修センター事業

○ J I C A研修講座

○ 指定研究実践協力校・校内研究実践協力校

平成29年度 帯広市教育研究所 発刊資料

分類・番号		資 料 名	発行月
研究紀要	第216号	帯広の子どもの学力 ～教研式CRTによる学力の分析と指導のあり方～ 	29年7月 冊子
	第307号	○生徒指導グループ 「特別の教科 道徳（道徳科）」における指導計画作成の手引き 	29年7月 冊子
教育資料	第308号	○生徒指導グループ 『道徳指導案例集 ～誰もができる道徳授業～（小学校版）』 	30年3月 冊子 クラウド
	第309号	○生徒指導グループ 一人ひとりの違いを認め、生き生きと活躍できる特別支援教育に関する研究 ～サポートが必要な子どもたちの理解と具体的な対応について～	30年3月 冊子
	第310号	○情報教育グループ 基礎・基本定着から活用力の育成のためのデータベース教材 「国語科 言葉についての基礎・基本問題」 	30年3月 クラウド HP
	第311号	○地域教材グループ ビデオ教材 ・小学校外国語活動・外国語科活用資料 「English in Obihiro ～身近な場面で英会話！～」 ・中学校キャリア教育・生徒指導等資料 「マナーについて学ぼう ～進路実現に向けて～」 	30年3月 クラウド
	第312号	○学力評価グループ ビデオ教材 ・「基礎的な知識の定着に向けたペア・グループ学習」 ・「学習規律の内容・方法 ～小学校編～」 	30年3月 クラウド
所 報	おびひろの教育 No.74		年1回
教育情報	教育情報 No.284～293 教育情報 PC Tips No.67～70		年10回 年4回

ホームページの ご案内

帯広市内小中学校全40校のホームページを見ることができます。

帯広第一中学校 帯広第二中学校 帯広第四中学校 帯広第五中学校	帯広第七中学校 帯広第八中学校 大空中学校 南町中学校 西陵中学校	緑園中学校 翔陽中学校 川西中学校 清川中学校 八千代中学校
--	---	--



平成30年度 研修事業

教育実践支援研修

○教育技術や教育方法に関わる実技研修（パソコン講座等）を実施します。

長期休業期間の研修

○長期休業期間の自己研鑽の機会を提供します。

- *講義・講演（今日的な教育課題）
- *体験研修（地域・自然・歴史・産業等）
- *実技研修（理科実験・読み聞かせ等）

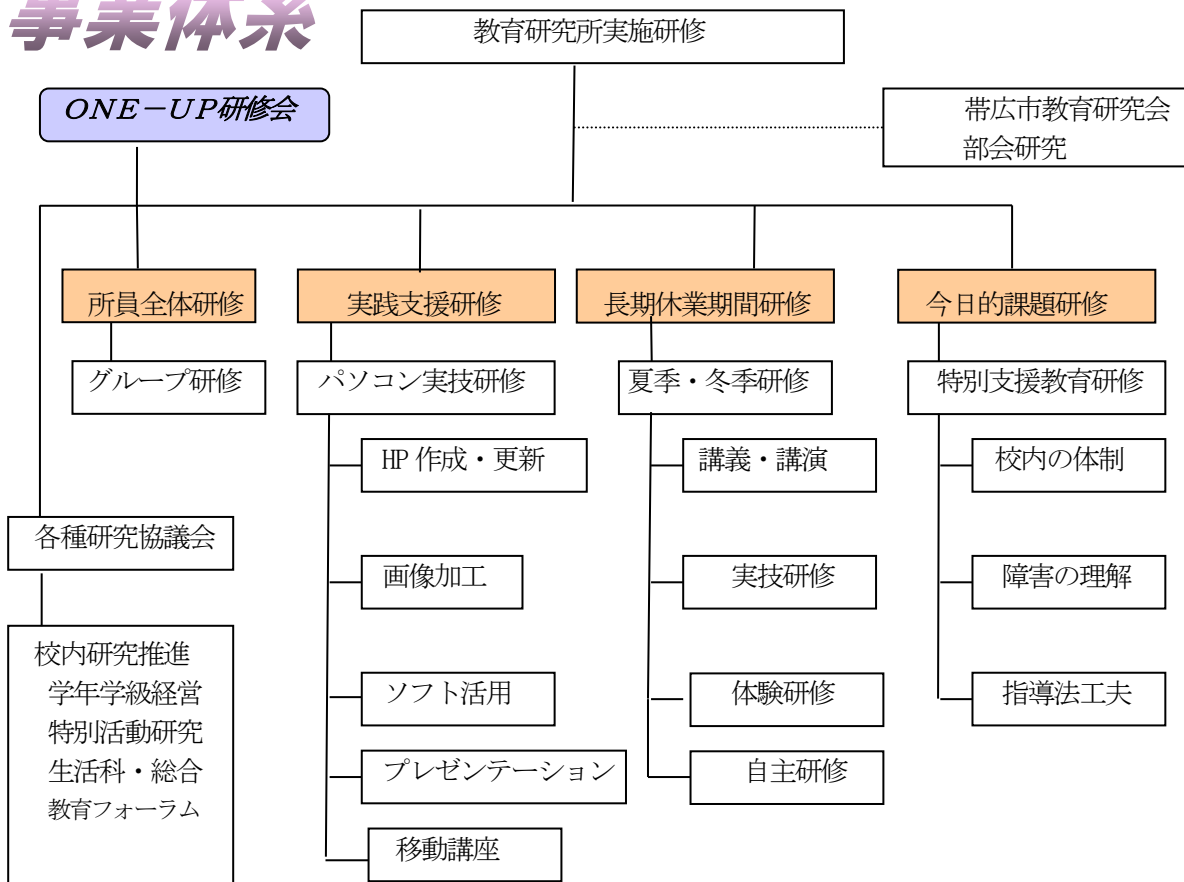
今日的課題研修

○本市の喫緊の教育課題に即応して実施します。
今年度は、主に特別支援教育に関する研修を実施します。

その他

- 教育研究所員研修
- 各種研究協議会

事業体系



長期休業期間研修

- 目的 市内小中学校の教員等を対象に、今日的教育課題に関する体験、実技・演習講座を開催し、市内学校教育の充実を図る。
- 内容 体験研修講座、実技・演習研修講座、パソコン講座など日常の教育実践から離れ、教師としての視野を広げたり、教育技術に関する実技を身に付けたりするための研修会の企画運営。

平成29年度 実施例 () は、参加者数

(夏季教員研修講座)

○博物館講座	(59)
○教育相談講座Ⅱ	(54)
○法教育講座	(52)
○学力向上研修講座	(38)
○ワンポイント講座	(34)
○ICT活用講座Ⅰ	(34)
○ICT活用講座Ⅱ	(25)
○障害者差別解消法講座	(57)
○ONE-UP研修会	(100)

(冬季教員研修講座)

○ONE-UP研修会	(69)
○不登校セミナー	(81)
○ワンポイント講座	(33)
○消費者教育講座	(19)
○手話講座	(34)
○教育相談講座Ⅰ	(41)
○スピードスケート実技	(25)
○アイヌ民族の文化と歴史講座	(46)

特別支援教育研修

- 目的 特別支援教育を推進するために、小中学校それぞれで課題になっていることを解決する上で必要とされる知識や技能の習得をめざすとともに、地域の小中学校との連携やつながりを深める。

内容 特別支援教育課題別研修講座の開催

平成29年度の実施例

○特別支援教育 研修講座 「みんなで半歩 ～校内体制と支援員の活用について～」

講師 北海道更別農業高等学校 養護教諭・特別支援教育コーディネーター 浅見 喜代美 氏

日時 10月12日(木)

対象 小・中学校 特別支援教育関係者、通常学級担任、保護者、特別支援教育補助員 等

内容 学校としての支援体制の充実と、児童・生徒を社会へ送り出すための支援について

★今年度の実施内容につきましては、後日詳細を各学校にご案内します。
多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

教員リーダー養成 「ONE-UP 研修会」

<事業の趣旨>

今日、確かな学力の向上やいじめ問題等への対応など、教育を取り巻く環境は厳しさを増しており、義務教育の質の保証や教師への揺るぎない信頼の確立に向けて、国をあげて取り組むことが改めて求められている。

特に、「教育は人なり」と言われるように、児童生徒の教育に直接携わる教員には、指導技術や知識等の専門的な力量はもちろん、子どもたちの「よさ」や「可能性」を高め、豊かな人間性を育てていくための「総合的な人間力」が必要である。

また、学校ではそのような「人間力」に裏打ちされた、魅力があり、子どもや保護者、同僚に信頼される教員がリーダーシップを発揮して積極的に新しい時代の学校経営に参画することが期待されている。

本事業は、教育に関わる専門的な業務に携わる教育研究所員を兼務する教員を対象に、彼らの視野を一層広げ、さらなる社会性や人間性の深まりを期待して、様々な分野で活躍する講師を招き、講話を聞く機会や意見交流の機会を設定しようというものである。

地道な取組ではあるが、本塾の経験を踏まえた年度ごとの所員の入れ替えと、現任所員と所員経験者によるネットワークの機能を生かすことで、本市学校教育の充実に寄与できるものと考えます。

平成19年度から平成28年度まで10年間、「21世紀教師塾」として開催したが、10年の区切りと時代の変化、ニーズと共に、平成29年度より「ONE-UP 研修会」と名称を変え、教員1人1人のライフステージに対応した研修会を開催するものである。

<事業の名称>

事業の名称は、「教員リーダー養成『ONE-UP 研修会』」とし、塾長は教育長とする。

<事業の目的>

帯広の明日を拓く、人間として調和のとれた児童生徒を育てる学校教育の充実にために、教育研究所員を対象とした講座を開設し、高い専門性と豊かな人間性をもって、児童生徒や保護者、同僚に信頼されるリーダー的な教員を養成する。

「ONE-UP 研修会」がめざす教師像

- (1) 明るく元気で、教職に対する強い情熱と誇りを持つ教師
- (2) 教育の専門家として確かな力量を持つ教師
- (3) 謙虚で広い視野をもつなど、総合的な人間力を有する教師

<事業の対象>

- (1) 帯広市教育研究所条例第3条及び同条例施行規則第3条に基づき、教育長より委嘱された教育研究所員。
- (2) 帯広市教育研究所研究委託委員会研究協力員・帯広市教育研究会事務局員のうち塾生となることを希望する者、及び所属する学校長の推薦を受けた者。
- (3) その他、教育長が必要と認める者。
- (4) 自らの職責を果たすために自ら進んで研修に参加し、幅広い分野の見聞を深め、教育活動に生かそうとする意欲のある者。

<事業の内容>

- (1) 道内外から講師を招き、講演会、意見交流会等を開催する。
- (2) 実施回数は年間4回程度とする。
- (3) 講師は、所員の意見などを聞きながら幅広い分野から候補者を選び、教育委員会学校教育部内で決定する。
- (4) 事業の趣旨を生かすために、講師は主として教育関係者以外から選出する。

<事業の実施計画>

- (1) 帯広市教育委員会は本事業に関する年間の実施計画を作成する。
- (2) (1)の実施計画の詳細及び、その他実施上の諸問題については、教育研究所が対応する。
- (3) 本事業に係る経費は、教育研究所予算で賄う。

帯広市教育研究所 利用の手引き Q & A

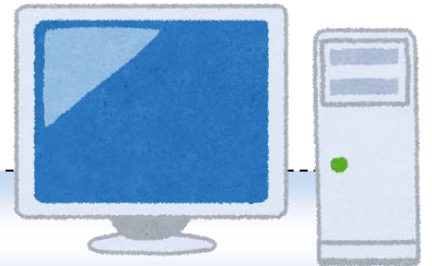
(特にお問合せの多い内容について例としてお知らせします。)

Q1 校内研究の参考となる資料を探しているのだけど・・・
総合的な学習の時間に使用するビデオ教材を借りたいのですが・・・

A1 教育研究所には全国・全道・管内の教育関係機関が発行した研究紀要が揃っています。また、各種の教育図書、教育情報誌も取り揃えております。
教育研究所HPにて、蔵書検索ができます。
ビデオ教材については教師の研修用、児童生徒の学習用等があります。
☆事前に管理職に確認の上、電話でお問合せください。

Q2 校内研究のテーマや研修の進め方について相談したいのですが・・・

A2 教育研究所では、指導主事が各種の研修・研究についてご相談に対応しております。
また、専門指導員及び17名の所員が、必要に応じて情報交換等に対応しております。
☆事前に管理職に確認の上、電話でお問合せください。



Q3 校内研修でパソコンの実技研修を企画したいのですが・・・
学校のホームページを更新したいのですが・・・

A3 各学校の環境に応じてパソコンの移動講座を実施しております。また、専門的な知識と技術を持った情報教育専門員の派遣を行っております。
☆事前に管理職に確認の上、電話でお問合せください。

Q4 校内掲示用の資料を作るために研究所の機器を使わせてほしいのですが・・・

A4 研究所には各種の拡大コピー機、大型プリンタ等があります。
自校で作成するのが困難な場合、また、急に必要となる場合など、できる限りご要望にお応えいたします。
☆管理職を通して用途・寸法等の基本情報をもとにお問合せください。